

平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	大気保全対策事業			会計	款	項目	大	小
				01	04	01	05	01 03
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	環境政策・放射能対策課			
施策	2-1	豊かで美しい生活環境の創造		主管課長	染谷 忠美			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市内在住者	意図	大気汚染を防止し、市民の健康を確保する。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・大気監視測定機器を適正に管理し大気環境状況を調査する。 ・違法燃焼行為を指導する。 ・光化学スモッグ注意報警報を発令する。 ・微小粒子状物質の注意喚起を市民に周知する。 ・大気汚染が改善され、市民が健康で安全かつ快適な生活が営めるようにする。 			
事業開始から現在までの状況変化	昭和62年度から開始している。高度経済成長に伴い、事業場のばい煙等による大気汚染が深刻になり、光化学スモッグ被害が顕著になった。ディーゼル車や事業場の規制等により、一時期よりは大気汚染が改善されてきているが、依然として光化学スモッグ注意報が発令されている。また最近では微小粒子状物質が国外からも入ってきており、大気汚染については国内だけの問題に留まっていない。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
①	オキシダント濃度	3	4	3	日		
	0.12PPM以上の出現日数						
	②		1	0	回		
	③						
④							
指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）						
事務事業のコスト	平成24年度	平成25年度	平成26年度	<ul style="list-style-type: none"> ・光化学スモッグ注意報発令の放送が聞き取りにくい等の苦情が寄せられている。 ・光化学スモッグ対策として、注意報発令に備え4月から10月までの期間において、当課職員が休日も出勤しているが、休日も勤務する他部署（消防署、守衛等）の協力を検討しながら人件費削減を検討する。 ・PM2.5対策として、千葉県から注意喚起が行われるが、毎朝、職員による測定値の確認を行っている。 ・防災無線の他、「安心メール」で大気情報を届けている。 			
事務事業の総計(a=b+c)	5,087,016	5,711,750	6,100,166				
事業費(b)(円)	4,225,656	4,314,350	4,718,313				
うち一般財源	4,225,656	4,314,350	4,718,313				
職員給与費(c)(円)	861,360	1,397,400	1,381,853				
人役・職員(人)	0.12	0.20	0.20				
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H26)の改善計画	事務改善を行い経費の削減を図る	③取り組みの課題	事務改善
②今年度(H26)に実施した取り組み	事業の必要性や効率性について検証を行った。	④今後の改善計画	事務改善を行い経費の削減を図る。